

在宅での緩和ケアの提供について

当院では在宅にて訪問診療を受けておられる悪性腫瘍等の患者様に疼痛緩和などの十分な緩和ケアを提供し、「在宅緩和ケア充実病院加算」の算定を届出しています。

届出要件

- 【1】 機能強化型の在宅療養支援診療所又は在宅療養支援病院の届出を行っていること
- 【2】 過去1年間の緊急往診の実績を15件以上かつ在宅での看取りの実績を20件以上有すること。
- 【3】 緩和ケア病棟又は在宅での1年間の看取り実績が10件以上の保険医療機関において3か月以上の勤務歴がある常勤の医師(在宅医療を担当する医師に限る)がいること。
- 【4】 末期の悪性腫瘍の患者であって、鎮痛剤の経口投与では疼痛が改善しないものに、患者が自ら注射によりオピオイド系鎮痛薬の注入を行う鎮痛療法を実施した実績を過去1年間に2件以上有する、又は過去に5件以上実施した経験のある常勤の医師が配置されており、適切な方法によってオピオイド系鎮痛薬を投与(投与経路は問わないが定期的な投与と頓服により患者自らが疼痛を管理できるものに限る)した実績を過去1年間に10件以上有していること。
- 【5】 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針に準拠した緩和ケア研修会」又は「緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会等」を修了している常勤の医師がいること。
- 【6】 院内等において、過去1年間の看取り実績及び十分な緩和ケアが受けられる旨の掲示をするなど、患者に対して必要な情報提供がなされていること。

令和2年4月

富山協立病院